

平成15年度綾歌郡情報部会の取り組み

1 研究主題 「新しい教育機器の効果的な活用のあり方」

2 活動内容

文部科学省では「IT革命」の構想を受けて、平成17年度を目標にすべての普通教室からインターネットに接続し、すべての授業でコンピュータを活用することを目標にしている。そこで、授業実践を通して今後学校全体でどのようにコンピュータを活用していけばよいかについて研究を進めてきた。

(1) 平成15年5月1日(木)綾歌中学校

ア 研究主題の決定

イ 研究組織の決定

平成16年度の香中研情報研究発表大会を見越して話し合った。コンピュータを通してどのような力をつけさせればよいか、またどのような活用方法がよいのか、教科と教科のつながりや教科と総合的な学習の時間との関連など具体的な研究内容について話し合った。

(2) 平成15年6月3日(火)綾南中学校 コンピュータ教室

ア 情報交換 各校のコンピュータの活用状況や実践事例について

イ 実技研修 将来を見越したコンピュータ教室の在り方について

各校ともにコンピュータ教室のコンピュータを入れ替える時期にきている。特にどの市町村も緊縮予算のため、どの学校も予算面では厳しいのが現状である。そこで、できる限り予算を必要としないコンピュータ教室の在り方や校内のコンピュータの配置方法について研究を進めた。今回はハードウェアとソフトウェアの両方を取り入れた教材提示装置「スカイシンク」のデモンストレーションを行ってもらい、今後の検討の参考にした。この教材提示装置はハードウェアのものに比べて若干反応速度は遅

いが、比較的安価であり参考になった。

このようにソフトウェアによる教材提示装置や無線LANなど様々な新しい製品が現れるなか、今後どのように導入し活用するかについて検討した。

また、各校のコンピュータの活用状況など情報交換し、身につけさせたい力や活用方法の工夫について意見を交換し研究内容について話し合った。

(3) 平成15年10月17日(金) 国分寺中学校 コンピュータ教室

ア 研究授業 総合的な学習の時間

イ 情報交換 各校のコンピュータの活用状況や実践事例について

総合的な学習の時間においては指導要領で、コンピュータを有効に活用した取り組みについて書かれている。国分寺中学校では、総合的な学習の時間にコンピュータを活用した取り組みが行われている。この研究授業を通して総合的な学習の時間でコンピュータの有効な活用方法や教科横断的な取り組み、また3年間の教育課程でどのような力を身につけさせていけばよいかについて話し合った。

3 反省と問題点

今年度は、来年度の県情報研究大会を見据えて授業実践を中心に研究を進めた。文部科学省では「IT革命」構想を受けて、平成17年を目標にすべての教室からインターネットに接続し、すべての授業でコンピュータを活用することをめざしている。そこで、今後すべての授業でコンピュータを有効に活用する方法について考えていく必要がある。そのため、教科の枠を超えて3年間の教育課程でどのような力を身につけさせていけばよいか研究していきたい。